

# 陸上節足動物の多様性生物学

教員名：山崎 健史

連絡先メールアドレス：yamasaki@atmark-hitohaku.jp

## ◎ どのような研究をされていて、どんなことに役立つのか？

クモ類やその近縁なグループ（クモガタ類）の分類学・生態学的な研究を行っています。日本から東南アジアにかけて、まだまだ未発見の種が多く、その多様性を明らかにすることが第一の目標です。また、どのように生物多様性が生まれ、維持されてきたのかを解明することも目標の一つで、アリに擬態するクモ類に着目し、その多様性創出・維持機構について、系統分類学と生態学の両アプローチから研究を行っています。



## ◎ 主な研究業績

- 1) 《アリ擬態クモ類の新種記載》 Yamasaki, T., Hashimoto, Y., Endo, T., Hyodo, F., Itioka T. & Meleng, P. (2018) New species of the ant-mimicking jumping spiders, the genus *Myrmarachne* MacLeay, 1839 (Araneae: Salticidae) from Sarawak, Borneo. *Zootaxa*, 4521: 335-356.
- 2) 《ヒヨケムシ目の分類学的研究》 Yamasaki, T., Henriques, S., Phung, L.T.H. & Hoang, Q.D. (2018) Redescription of the sole species of the enigmatic solifuge genus *Dinorhax* Simon, 1879 (Solifugae: Melanoblossiidae) in Southeast Asia. *Journal of Arachnology*, 46: 498-506.

## ◎ 学生に向けて一言

6度目の大量絶滅期にあるといわれる現在、「何が、どこに、何種類いるか」という多様性のパターン情報は、保全生物学など様々な分野へ波及効果をもたらします。生物の多様性に興味のある学生の皆さんをお待ちしています。